

[論文]

保育者養成課程における総合的な表現活動の試み 「表現」に関わる教科の連携と実践を通してその可能性を探る

幼児教育学科 准教授 塩崎みづほ
幼児教育学科 准教授 小口偉
幼児教育学科 准教授 長谷川恭子

Attempt of comprehensive expression activities in the childcare educational institution
Exploring the possibilities through the cooperation and practice of subjects related to
"expression"

Mizuho Shiozaki Suguru Oguchi Kyoko Hasegawa 2020

キーワード：領域「表現」、総合的な表現活動、教科連携

Key Words : Expression, Comprehensive expression activity, Subject cooperation

要約：領域「表現」に関わる総合的な活動の一環として行なった作品創作発表までの授業実践と学生の感想を、これからの保育者に求められる資質をふまえて考察し、本授業内容の効果、課題を見出す一資料とすることを目的とした。今回の授業連携、活動を通して、学生自身が表現することの楽しさを実感し、仲間と協働して取り組むことの大切さ、振り返りの重要性に気づいた点から、本活動に一定の効果を見出すことができた。一方で、教科の連携を深めるためにも総合的活動を実践する授業の開設、基礎技術を習得するための授業時間の確保と充実した内容の検討といった課題も見出された。

Abstract (English) :

We will consider the lesson practice and student impressions up to the presentation of the creation of the work, which was carried out as part of the comprehensive activities related to the area "expression", based on the qualities required of future childcare workers, and discuss the effects and issues of this lesson content. The purpose was to use it as a material to find. The purpose was to use it as a material to find. Through these lesson collaborations and activities, it became clear that the students themselves realized the joy of expressing themselves, the importance of working in collaboration with their peers, and the deepening of learning from each other, and the activities in these classes. I was able to find the significance of doing so. On the other hand, certain issues were found such as opening lessons to practice comprehensive activities to deepen the cooperation of students, securing lesson times to acquire basic skills, examining substantial contents, and reconsidering presentation themes.

1. 問題の所在と研究の目的

領域「表現」は、「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにすること」¹⁾と述べられている。内容では、生活との繋がりを大切に、美しいものや心動かされる体験の大切さについてもあげられている。平成 29 年に告示された 3 法令（幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領）では、領域「表現」に関して大きな記述の変更はみられない。一方で、今回の保育者養成校における再課程認定では、領域「表現」のカリキュラムはより総合的な関わりを持たせる配慮が求められたため、その対応を試みた講義を設置した養成校は多いであろう。筆者らの所属校幼児教育学科では、音楽と身体表現の関連を持たせた「音楽・身体表現」「音楽・身体表現(指導法)」という講義が設置され、2019 年後期より第 1 部 1 年生で「音楽・身体表現」の授業がスタートした。幼児期の「表現」は、横断的に表れるものであり、総合的に捉えられることが望ましい。一方で、教科としての意識が強いこともあり、ダンス＝お遊戯会(身体表現)、作品制作＝作品発表会(造形表現)、歌唱・器楽＝音楽発表会(音楽表現)をこなすことで、表現活動を終えている現状があることも見逃せない点である²⁾³⁾。学生が小学校以降に経験してきている教科の枠を超えて、それぞれの活動が相互に関連し合いながら展開される「表現」活動に気づき、保育活動へとつなげることができる力を育みたいと考える。そこで、本学科の「音楽・身体表現」の授業では、音楽、身体表現の基礎的技術の習得、表現を通してイメージを豊かにすることなどをねらいとし、総合的な表現活動へとつなぐことができる力を養うことを最終目標とすることとした。よって、最終課題を総合的表現活動の発表とし、学生たちが構成を考え、創作し、発表し、振り返るという一連の過程を体験するという内容を行った。この体験を通じて、幼児が表現活動を楽しみ、表現の美しさを感じ、表現活動を通じて成長するといったことへ気づき、そのために必要な保育者の配慮といった点について学ぶ良い機会になると考えた。そこで担当者間で意見を共有し、内容を検討した結果、総合的活動を行うには、造形表現との関わりも見逃せないことから、「造形表現(指導法)」の授業との連携を図ることとした。

さて、保育者養成校としてこれからの保育者に求められる資質を育成していくことは、重要な役割の一つと考える。中教審答申(平成 27 年 12 月)「幼稚園教諭に求められる資質能力」⁴⁾では、(1)不易とされる資質能力、(2)新たな課題に対応できる力、(3)組織的・協働的に諸問題を解決する力の 3 つに大別されている。(1)幼稚園教諭として不易とされる資質能力では、幼稚園教育要領に示す 5 領域の教育内容に関する専門知識を備えるとともに、5 領域に示す教育内容を指導するために必要な力、幼児理解、指導計画の構想、実践、様々な教材を必要に応じて工夫する力など、幼児期の教育を実践していく専門家としての側面から見ていく必要について述べられている。(2)新たな課題に対応できる力では、これからの時代に教員に求められる資質能力として、自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていくことのできる力や、情報を適切に収集、選択、活用する能力や、知識を有機的に結びつけ、構造化する力などが必要であると述べられている。必要に応じて ICT の活用、カリキュラムマネジメントへ参画するなど、新たな課題に対応できる力量をつけることも求められている。(3)組織的・協働的に

諸問題を解決する力では、チーム学校(幼稚園)の考えの下で、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、組織的・協働的に諸問題の解決に取り組む力の醸成が必要であることを指摘している。幼稚園の場合は、1園あたりの教員数が少ないことから、目的実現のために得意分野を活かし、同僚と協働して豊かな体験を保證する環境を構成するなど、協働的に諸問題に取り組む力が求められてきたといえる。さらに近年の幼稚園に寄せられる期待やニーズが多様化、かつ複雑化していることを踏まえると、さらに限られた人材の中で、効果的に連携し仕事を分担するなど組織的・協働的に諸問題の解決に取り組む力の醸成が望まれているといえるだろう。これら多様な専門性が求められる今、授業内容を充実させ、学生たちが自信を持って現場へと出ていくことができる力を育成することが養成校には望まれるのではないだろうか。

そこで本研究では、保育者養成課程の学生が領域「表現」に関わる総合的な活動を経験することで、保育者に求められる資質能力の育成が期待できるかについて調べ、本授業のカリキュラムと授業内容改善の一資料とすることを目的とした。

2. 研究方法

2-1 対象

2-1-1 対象とした授業の目的と内容

(1) 音楽・身体表現

幼児教育学科第1部1年次における必修授業である「音楽・身体表現」では、「領域「表現」における音楽・身体表現の指導法に関する、乳幼児期の特徴を捉え、乳幼児の感性や創造性を豊かにする表現遊びや環境について実践的に学ぶとともに、保育者として必要な知識・技能を学び、豊かな感性と表現力を身に付ける」ことを主な内容としている。授業の到達目標は、下記の4つをあげている。

- ① 見る・聴く・動くなどの様々な表現を楽しむことを通して、イメージを豊かにすることができる。
- ② 生活の中での出来事を、様々な素材を生かして表現することができる。
- ③ それぞれの表出・表現を受け止め、表現する過程を工夫し、より楽しめるよう発展させることができる。
- ④ 他者を受け入れ、互いに共感しあう活動を通して、表現の楽しさの要因についての知識を深め、生かすことができる。

「音楽・身体表現」の授業は、全15回の授業において、音楽表現、身体表現の授業をそれぞれ3回ずつ行い、その後、総合的表現の活動時間とした。授業形態は、2クラス合同とし、授業、活動グループもクラス混合で行う取り組みをした。本学では、クラス混合で活動するという授業が少ないため、学生同士の繋がりが深まる良い機会になると考えたからである。

グループ活動では、毎時個人、グループの振り返りを行うシートを用意した。学生たちの積極的な取り組みを促すとともに、教員と学生とのコミュニケーションペーパーとしての役割、教員の評価としての役割を担うためである。さらに、音楽、身体表現の創作にあたっては、その時間に創った振りなどに

ついて動画撮影し、教員と学生でグループの活動内容を共有するため Google ドライブを利用した。

授業実践内容は表1の通りである。

表1 授業実践内容

回	授業テーマ	内容
1	ガイダンス	<p>「授業のねらいと内容 課題の提示」</p> <p>課題内容:童謡を10曲選び、その中からお気に入りの3曲を選出する。その3曲については、歌詞の内容、リズムなどを手がかりとして作品へと繋がるイメージ案も添えることとした。</p> <p>総合表現作品の共通テーマが、「童謡からイメージを広げた作品創り」であることから、童謡の歌詞が持つ世界観を広げながら、音や体の自由な表現を取り入れ、衣装や道具なども考えて一つのまとまりある作品に仕上げていくという見通しを持ってもらうための課題内容とした。また、幼児を対象とした作品とし、5歳児が取り組むことのできる内容で検討することとした。</p>
2	身体表現実技①	<p>「リズムカルな動きを体験する」</p> <p>●リズムや歌詞を体で感じる</p> <p>リズムや歌詞からイメージを広げ、リズムカルな動きを楽しみ、創作する活動を行った。リズムの持つ特徴を捉えて動きを引き出すこと、また歌詞をもとに動きを工夫する創作活動を行い、さらに見せ方の基礎として、隊形、シンメトリー、カノンといった表現技法についても学ぶ。</p> <p>●空想の世界から身体表現へ</p> <p>「宇宙での出来事」というタイトルで、継ぎ足し話を体で表し、即興的に動くという活動。</p> <p>*運動会作品につながる例として一つのまとまりある作品に仕上げた。</p>
3	身体表現②	<p>「生活体験から表現遊びへ」</p> <p>●遠足や運動会の思い出を体で表現しよう</p> <p>幼児が生活体験として描いた絵を用いて、身体表現を楽しむ活動を行なった。芋掘り、運動会、園庭遊び、遠足などである。</p> <p>●おもちゃに変身</p> <p>日常遊んでいるおもちゃに変身する活動。こま、ボール、折り紙、ブロック、粘土など</p>
4	身体表現③	<p>「絵本から身体表現へ」</p>

		●「うちへおいで」の絵本を用いて身体表現活動へ展開した。
5	音楽表現①	「領域〈表現〉における音楽表現について」 ●保育における音楽表現の扱い ●音楽表現の発達について 領域「表現」における音楽表現の扱いについて説明することで、基盤となる音楽表現の意義を確認した。また、幼児の音楽表現の発達について、わらべうた遊びを例にしながら説明・実践した。
6	音楽表現②	「身近な音を表現しよう」 総合表現に向けた実技の準備として、「音」を表現する活動をグループで行なった。学生自身が表現することや他の学生の表現との違いを受容することで、「音」や「音質」への興味を持たせるきっかけとなった。 ●絵から音をイメージしよう 絵本に描かれている抽象的な絵や擬音を表す単語から受けるインスピレーションを音で表現する。 ●生活の中の音を聞き、楽器・物で再現しよう 生活の中の音を楽器や物を使って再現してみる。
7	音楽表現③	「リズムをつかって合奏を創作しよう」 ●オスティナートを活用した創作と合奏 楽曲の伴奏として、打楽器による合奏を作成する活動を行った。合奏を作成する手段のひとつとして、リズムのオスティナートを使用した。学生にとって、オスティナートを理解することは難しい様子で、学生同士で話し合いをしながら、楽譜に拘らずに感覚でリズムのモチーフを作ることができた。
8	作品創作に向けてのガイダンス	「グループ活動①」 今後のスケジュール作成、作品に向けた話し合い 構成用紙や個人の振り返りノートの書き方について 初回授業時に課した課題を一人ずつ持ち寄って、グループ内で作品に使う曲を選び、構成等について話し合いを行った。
9	グループにて発表内容について検討	「グループ活動② テーマ曲の決定、構成案の検討」 作品のメインとなる曲を決定、構成について話し合い、音楽、身体、造形表現をどのように用いるか、具体的に決めていく活動を行った。

10	練習、構成用紙の記入	「グループ活動③ 構成の決定、制作物の決定」 実際に、音を出しながら、動きながらの創作活動を行った。教室も、音楽室、体育館を使用し、グループで話し合って活動場所を決めた。動きや、音の共有として動画を撮影し、提出することとした。授業専用の Google ドライブを作成し、学生と担当教員とが内容共有できるようにした。
11	練習、構成用紙の提出	「グループ活動④ 構成用紙の提出」 次週の間接発表に向けて、作品の流れを創作し、練習する。また、構成用紙も提出することとした。
12	グループ別中間発表	「グループ活動⑤ 修正と練習」 作品をある程度の形に仕上げる目安として、中間発表会を設けた。グループごとに担当教員の前で発表をし、教員から技術的なアドバイス、現在のつまづきに対する対処策等について伝えた。
13	最終練習	「グループ活動⑥ 発表に向けて練習」
14	発表会	全クラス合同で行い、司会進行は学生が行った。学生たちは、仲間の作品で気に入った作品名とその理由を記入することと、自分たちの発表後の感想を書き提出
15	振り返りとまとめ	「振り返りシートの記入と共有」 「幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿」から 10 の項目を取り上げ、その項目に 3 つの視点、①「事実」(実際の活動場面で起きたこと)、②「学んだこと」(その事実から学んだこと)、③「課題」(学んだことを生かして今後どのようにしたら良いかの提案)をあげ、本活動に当てはまる内容を記入させた。個人で振り返りを行い、その後、創作活動グループとは別のグループを組み、意見を共有しながら、グループで 1 枚のシートを書き上げ、今回の活動の意義についてまとめを行った。

(2) 造形表現(指導法)

本文中に作品、創作、制作、制作物とあるが、造形表現(指導法)の授業において制作されたものについては「制作物」、制作物を造形する行為を「制作」と表すこととする。

「造形表現(指導法)」の授業全 15 回のうちの 9、10 回目の授業は「音楽・身体表現」の授業で決定したテーマに向かって、舞台装置としての制作物(以下、制作物)の制作の時間にあてた。発表のためのグループは 2 つのクラスが混合したものであったが、制作の時間はクラス単位の授業時間であるためグループの半分の人数での制作となった。「造形表現(指導法)」のシラバス上での第 8 回

目以前と第 11 回目以降の授業は 9、10 回目の授業と密接な関連はない。

この取り組みでは、「保育者として必要な表現の能力を豊かにし、その経験をもとに幼児が活動する配慮や理解について学生が気づく」ことをねらいとするので、「造形表現(指導法)」での「音楽・身体表現」との関連による第 9、10 回目の到達目標を設定した。(表 2)

到達目標の設定理由は次の通りである。

・造形表現は、目には見えない「感じ」を、ある条件(=制約、以下制約)の中で具体的な形を持った実在素材に置き換える行為だと考える。そして制約を自分なりに物として昇華しようとする過程そのものも保育者として大切にしたい。さらに人が外界から受け取る「感じ」や表現することへの動機は、一人ひとり異なっている。だからこそ表現は多様なのであって、それは子ども一人ひとりを尊重する保育現場で働こうとするものは認識していなければならないことだと考える。

表 2「造形表現(指導法)」での実践

回	内容	到達目標
9	「主旨説明及び素材の使用方法の説明と実制作」 授業回数 2 回での制作時間を考え、加工が容易な紙(ダンボールを含む)、ポリ袋やプラスチック容器、絵具を中心とした。特に硬軟によって同じ紙素材でも出来ることが違う点や、同じシート状の素材であり、扱いやすい柔らかさを持つプラスチック素材と紙素材でも「感じ」が違う点に、特に注意するように伝えた。	様々な素材に触れる事で素材が持つ特徴に気がつく
10	「実制作」 共同制作では意見の相違や合致を経験し、一つの物を作ろうと協力する姿がみられた。	共同制作を通して表現の多様さを認識する

(3) 発表作品について

発表作品のテーマは、「一つのメインとなる童謡からイメージを広げて」である。メインとなる童謡の他にも数曲入れ込むこと、オスティナートを入れること、生演奏であること、リズムカルなダンスだけではなく、動きの表現を工夫すること、造形を生かす制作物を取り入れることを含めるものとした。作品は 10 分以内とし、グループの人数は 8 名、必ず演奏、動きの両方を全員が担当することとした。全発表作品名と使用曲は資料 1 に示した。また、作品例として資料 2 に構成用紙を示す。

2-1-2 対象者

幼児教育学科第 1 部 1 年生 130 名

2-1-3 研究対象期間

令和元年 9 月 20 日～令和 2 年 1 月 10 日

2-2 方法

総合表現に向けた授業カリキュラムと授業内容の効果と課題を見出すという目的から、学生個人

の振り返りレポートの中の全授業を終えた感想に着目をし、その内容をデータとして打ち込み、KH Coder(Ver3.00)を使用して分析する。

2-2-1 分析方法

(1) 共起ネットワーク

抽出された語の中で、関連が特に強い語同士を表す共起ネットワークを作成する。最小出現語数 2 に設定、Jaccard 係数を 0.2 とした。出現数の多い語ほど大きい円で描画されているため、データの全体像を視覚的に把握することができる。また共起関係の強いとされる語に関して、実例として学生の記述の中でどのように表されているか探っていく。

3. 結果と考察

個人の振り返りレポートの共起ネットワークを、図 1 に示す。

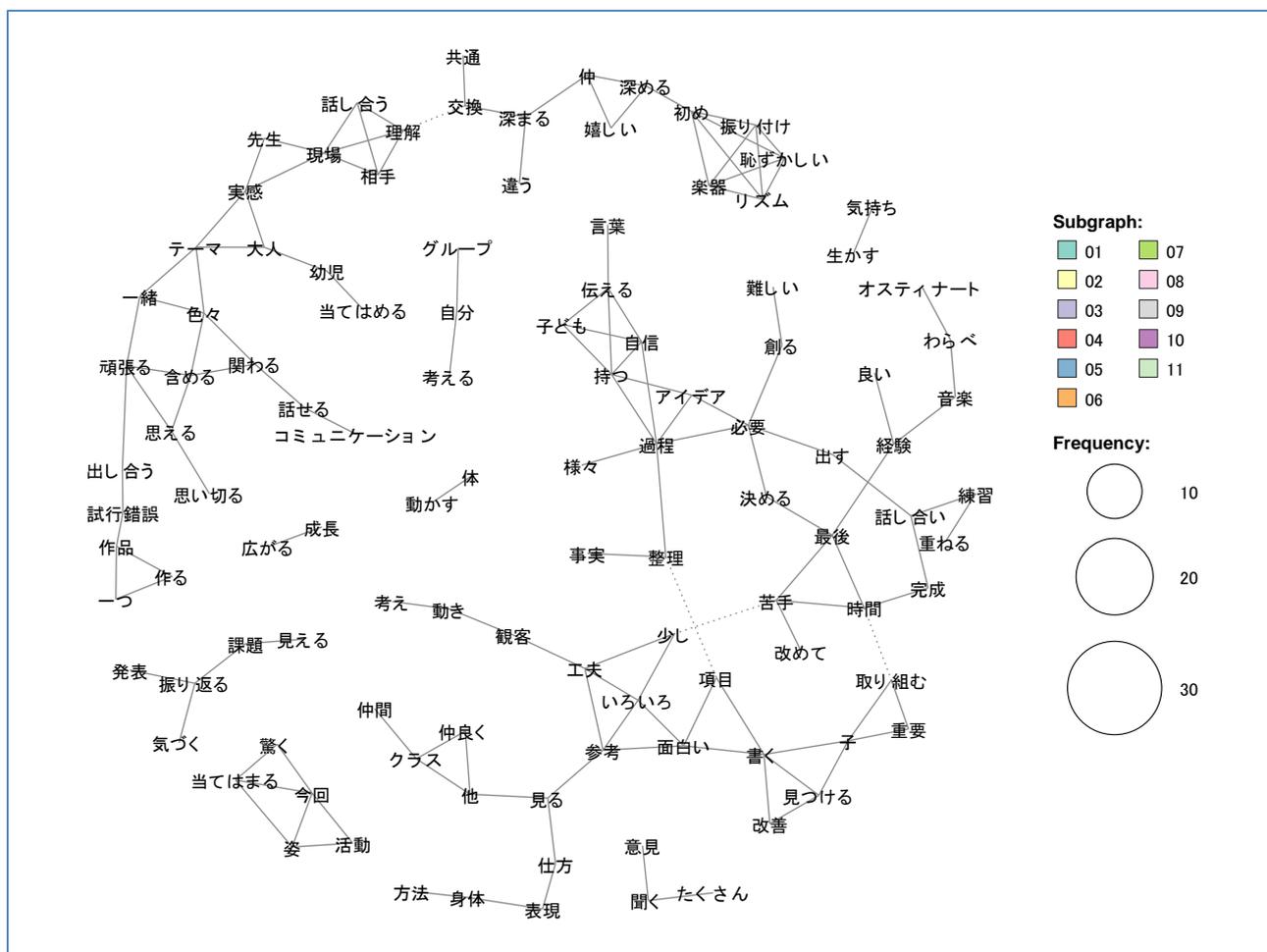


図 1 授業のまとめの感想

仲間「クラス」といった意見が出ており、多くの学生が、「違うクラスの仲間と親しくなれて楽しかった」と回答していることから、活動を通して仲が深まったことがわかる。活動の中で仲間との関係を深めることができた要因は、コミュニケーション能力が高まったことであると考えられる。「表現」「仕方」「面白い」「いろいろ」といった言葉の関連を見てみると、「表現の楽しさはいっぱいあって、仲間とすることで

さらに楽しくなることを感じた」「身体表現では、様々な題材で表現できることを学んだ。また仲間と一緒にやったので、同じテーマでも表現の仕方も色々あるということがわかった」といった感想があげられていることから、コミュニケーションと表現が相互作用し、作品を完成させることに活かされたことがわかる。

その他、「自分」「グループ」「考える」の意見も多く繋がりも深いことがわかる。「自分の意見ばかりではなく、相手のことも考えてグループ全体で協力することができてよかった」「仲間と意見を共有することで、自分の気づけなかったことに気づけた」など、自分を振り返りながらも相手と意見を共有することの大切さに気づけているものと推察できる。

「発表」「振り返る」「課題」の言葉とその関連も大きいことがわかる。「発表までの過程を振り返って整理することで、様々な課題や学びが見えてきた」といった感想があり、振り返りの時間を個人、仲間と行なったことで本活動での学びが深まったことがわかる。また、「姿」「活動」「驚く」といった言葉からは、「10 の姿を意識していなかったが、意外にもあてはあることが多くて驚いた」といった感想から、今回の振り返りシートも効果があったと推察できる。

「難しい」「創る」「良い」「経験」の関連が見られ、学生の感想から、「音楽を自分たちで創ったり、ストーリーを考えたり難しかったけど、将来のためになると感じたし、学びが多く良い経験になった」、「一から考え創っていく過程で、自分の中の様々なアイデアや発想が役立つため、もっと知識が必要だと思った」、「積み重ねたものが発表につながり、達成感が大きかった」といった感想があり、大変だったという声とともに、だからこそその学び、達成感を得ることができたことがわかった。

上記の結果を踏まえ、「保育者に求められる資質能力」との関連を考える。(1)の不易となる能力に当てはまる項目として、「音楽表現、身体表現の技術的な学び」、「幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿を用いた振り返り」、があげられるだろう。「技術についての学び」では、「表現の楽しさを知った」、「たくさんの表現方法を知った」、「同じテーマでも一人ひとり違うことを実感し、枠にはめるのは大人の都合であり、子どものためではないことを感じた。個性として子ども一人ひとりを受け止める保育をしたいと強く思った」といった感想があり、音楽・身体表現それぞれの題材についての学びの深まり、仲間の表現を受け入れることの楽しさへの気づきが見られ、表現の特性に触れることができたといえよう。もう一点、「振り返り」の重要性の気づきが見られ、振り返りを丁寧に行うことで、自分を振り返ることができ、さらに他者の意見を聞き、そこから課題を見出すことができるといった過程を体験できたことから、本活動の意義に気づくことができたことと推察できる。

次に、(2)新たな課題に対応する力では、「創作過程での学び」があげられる。一つの課題について取り組む際に、情報を収集すること、自身の能力を向上させること、グループ活動の実践の必要性についての学びが深まったとみることができた。3点目の(3)組織的・協働的に諸問題を解決する力ではもっとも多くの意見があげられた、「仲間との連携」が考えられる。違うクラスの仲間と出会い、同じ目標に向かって取り組む活動を通して、コミュニケーションの大切さを実感し、向上したことが見受けられた。表現という授業の特性がまさに活かされている活動であったと考えられ、今回の最終課題も効果があったとみることができよう。

4. まとめ

本活動は、「幼稚園教諭に求められる資質能力」を養う可能性があるかと推察できた。一方、結果と考察より、今後の課題点も見出すことができた。

4-1 基礎的技術の向上の必要性

各担当教員が総合表現を意識して授業内容を組んでいることは、非常に良い点である。一方、限られた授業時間数の中でそれぞれの表現の基礎的技術を十分に伝えることができなかったことは、反省点である。学生たちは、表現の楽しさ、子どもにとって大切な活動であることは理解しているものの、大きな要素を占めているとは言い難い。また、造形表現の授業との関連にも難しさがあつた。より深い学びと理解を目指すためのカリキュラム、授業内容を再構築する必要性が見出された。

4-2 総合的表現活動の課題内容の再考

仲間とともに意見を交換し合うことの大切さ、仲間がいるから表現活動が成り立つということについての気づきは、学生の感想からも大いに今回の活動が貢献しているとみることができた。クラスの枠を超えて初めて出会う仲間と意思疎通を図り、相手の意見を受け止め、また自分の意見も伝える、すなわちコミュニケーションを取りながら、協働して行うことが、目的達成には欠かせないことであることに気づいた学生がほとんどであった。よって、最終課題も効果のある内容であったといえるだろう。一方で、難しさを感じている学生も見られ、さらに限られた時間であることから、課題内容、構成用紙については再考し、より円滑に進むよう再検討したい。

4-3 課題解決にむかう力の養成

今回は、個人の振り返りシートとともに、グループで見通し持つことができるようグループのシートも配布し、それぞれのグループで本時行う活動を決めていくというグループワークの形をとった。まさにアクティブラーニングといえるだろう。学生たち自らがどう動くか、このグループで自分はどの役割を果たす必要があるのか、個で考える力と、グループとして考える力両方を学ぶことができる活動として、今回の活動は良い効果が期待できるだろう。今後は、ICT を利用した活動をもっと取り入れることで、これからの時代に求められる資質能力により近づけられるものにしていきたい。今後の課題として早急に取り入れたい。

引用・参考資料

- 1) 文部科学省 学習指導要領「生きる力」 幼稚園教育要領 第2章 ねらい及び内容
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/you/nerai.htm (最終アクセス日: 2021年2月8日)
- 2) 永岡和香子「幼児の総合的表現活動の展開と可能性—『子どものための音楽と舞踊 Musikund Tnaz fur Kinder』の分析を通して」全国大学音楽教育学会研究紀要(22)
- 3) 阿部寿文他「豊かな表現を育む総合的表現遊び—幼児教育・保育士養成におけるアプローチ—」大阪女子短期大学紀要(39)
- 4) II 幼稚園教諭に求められる資質能力と教員養成段階に求められること

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2017/05/19/1385791_5.pdf (最終アクセス日:2021年2月2日)

- 5) 平成 29 年告示『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』
- 6) 無藤隆、汐見稔幸、砂上史子(2017)『ここがポイント! 3 法令ガイドブック—新しい「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の理解のために—』フレーベル館

資料 1 発表作品タイトルと使用曲名

タイトル	テーマ曲 (その他の曲)	内容
秋草の音楽家	山の音楽家	森の中で動物たちが出てきて演奏をする
遠足	山の音楽家 (バスに乗って、おべんとう、とけいの歌)	幼児が遠足にやってくる。お昼休憩の時に動物たちがやってきて演奏をしてくれる
サンタの冒険	あわてんぼうのサンタクロース (きらきら星)	子どもたちが寝た後、サンタクロースとトナカイがやってくる
夜に動き出すおもちゃ達	おもちゃのチャチャチャ (ゆきやこんこ)	子どもが寝た後に、おもちゃ箱からおもちゃが動き出す
線路は続くよ	線路は続くよ(チューリップ、海、芋掘りの歌、ジングルベル)	列車の追って、季節(四季)の旅に出る
Happy Merry Christmas	きよしこの夜(ハピネス)	クリスマスのパーティをする
聖なる夜	あわてんぼうのサンタクロース (星に願いを、ジングルベル)	サンタクロースが子ども達が寝た後に、プレゼントを持ってやってくる
動物達のある日の出来事	森のくまさん(あめふりくまのこ、にじの向こうに)	雨の中くまがやってくる、そこへ女の子が来て一緒に楽しく過ごす
みんな集まると楽しい!	世界中の子どもたちが(小さなせかい)	曲に合わせて、中国、日本、アメリカ、フランスらしい服装を着て楽器を鳴らし歌って踊る
世界中の子どもたちが	世界中の子どもたちが(小さな世界、おかえりの歌)	地球にいろいろな国がある、みんなが仲良くなろうと民族衣装を着て歌って踊る
山の音楽家	山の音楽家	森の動物たちがやってきてそれぞれの楽器で演奏をする
おもちゃのチャチャチャ	おもちゃのチャチャチャ	子ども部屋でおもちゃたちが踊り出す
進め!みずほ保育園!～バイキン退治の巻～	はみがきの歌(おべんとうの歌、子守唄、おかえりの歌)	保育所で子どもたちが食事やおやつ後に歯磨きをすることでバイキンを退治する
おばけ	おばけなんてないさ	曲に合わせて子どもとお化けが仲良くなる
サンタクロースの大仕事	あわてんぼうのサンタクロース	サンタクロースたちが出て踊る

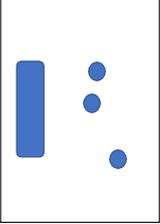
資料 2 実際の作品構成(筆者記入)

! " # \$ % & ' () * & ### - . / + 0 1 2 3 4 +5 6 7 8 9 . : ; < = > ? @ A B C D E > +

" # \$ % & ' () * + , - . / 0 &

1 % 2 3 / 4 5 6 7 8 9 !

1 % 2 : ; < = > ? @ A B C D E F G H I > J K L 8 9 !

J K L [g]!	h i j k l m n o p h i j k l m n o p > U a b c 9 B ! h i j k l m n o p \$ e e # 6 Y Z R r u i o i i i n x o o ! * 1 % : £ 4 \$ e e # 6 \$ x o p ! a a 4 9 u s @ c m i n j . x o p . i a a 6 i . 7 # p . [7 o r / e] Ø E [\] 8 q i . ' ó ! \$ e e # A a a E ~ G o s w x ± o \$ # t B v O 7 # p ! B 6 o 8 A z x E D . ' µ # 1 % ó £ j Σ . i o i i \$ e e # 6 ! Q w x D z o e e i p t B u 4 n p . ! L M N / j !	STU+VWX! > ? @ A B 9 ! A Ç / E N O ! 4 5 6 7 8 9 ! A Ç / E N O ! y Ø π Ø π Ø π Ø π + + Á 8 A z x E j ' a ° A E U * (£ . ' o x o i p X \$ # ! y = ó = ó A B 6 o Á ! 4 5 6 7 8 9 - Ç ! Ç G z ! E N O > Ç ! E F B E F ! E N O A Ç ! 4 5 6 7 8 9 - Ç ! E N O A Ç ! 4 5 6 7 8 9 ! j ' a ° / E U * (! ! t é O e # ! ! > G H I 8 9 ! E N O A Ç ! Q µ i O □ / O # \$ Q # ! K Ç £ Ú . ' 1 U i % ' !	YZ+[\] + ^ _ ! q 8 [\] " " r 6 s h p t B u v w x o i p . i a a / a ç e i e ! h i j / o d u o o u # ! \$ e e # / o u u 8 ^ _ D \$ e e # 8 u i l . ! s \] / \$ e e # 6 a w x r u i n p i o ! ! ! * µ # 1 % ó £ . w C i # i # ! > u a i D > r k !	* 1 % : a b c ! 	d e v W !
Δg!	h i j k l m n o p . i . * C . Á i £ 4 > Á Ö ~ * F B A ! a a 4 D e w x Ö x o p e k Σ # . ! h i j k l 4 D a a 8 K u - w x O G * . n i * x o p e k Σ # ! h i j k l y " 7 t B . " 7 t B . > ' 6 # o C > + 0 . Á ! y y 6 Y / C u Á ! L M N / j !				
°g!	a a 4 > a e " f i u " ' > a e " 4 f i t t . . ! . £ 9 9 B ! k i l m e . * A B u > a e " a w x % p ! \$ e e # A 4 Y Z 8 r u i n p ! a a 4 r / e Ø i a w x i E A # t B v O 7 . ! = ó = ó B 6 o 8 e k £ a a e * µ # 1 % ó a w x i E A # ! t B u # p ! \$ e e # 4 D i Q w x A E G e 4 n p ! 9 E @ £ a a 4 7 i o u v w C . * o O 7 # p ! 9 o v 6 e * 1 % : u ó 6 i D % p !				
gU					